

# むさしNet

(発行)

\*働きやすい職場をめざす  
 (連絡先) ルネサス武蔵の会  
 \*東村山市恩多町3-11-18 谷口利男  
 \*電話・FAX ; 042-394-0937  
 \*メール; hitachikon@jcom.home.ne.jp  
 \*要望・意見を気軽にお寄せ下さい。

## ルネサスの再雇用「制度」も 厚生労働省に要請!

5月12日の厚生労働省への要請には、小池参議院議員の大槻秘書、電機懇中山事務局長、NEC/山崎東芝/今井塩田、沖電気/北村、ルネサス/谷口、赤旗/中村記者ら8名が参加しました。対応は企画課西澤政策係長、高齢者雇用対策課西浦調整係

### 制度上の問題点

日立とルネサスとも、会社が提示した職務に対して「同意」又は「合致」した者としており、結果的に継続雇用を希望する人が「再雇用」されない結果になりやすく、この事は、「継続雇用制度の対象者に係る基準」Q&AのQ16の内容「高年齢者雇用確保措置を講じたものと解釈されません」との指摘に合致します。

### 夜勤の提示

さらに、会社提示の職種が夜勤のみとした場合は、同Q&AのQ7の内容にある「公序良俗に反するものは認められない」との指摘に合致します。

### 厚労省の態度

対応した二人の係長は、要請事項に対して労使協議がされておれば問題ない「個別事案に関しては紛争処理機関で対応する

### 再雇用制度の基本

日立制度は「会社は、再雇用を希望する全ての者に対し、職務等の提示を行ない、本人が同意した場合に再雇用する」と規定。

ルネサス制度は「会社が提示した適職に合致した者を再雇用する」と規定。

結果になりやすく、この事は、「継続雇用制度の対象者に係る基準」Q&AのQ16の内容「高年齢者雇用確保措置を講じたものと解釈されません」との指摘に合致します。



(要請時の様子)

の態度に終始しました。  
 (要請書全文は、次面で紹介しています)

# 立川ハローワークへも要請

当日の午後2時15分～45分、立川ハローワークへの要請を田中龍男立川・三多摩労連副議長と一緒に、対応は雇用開発部長の渡辺清人氏と事務官が会議室で受けました。

会社の適職提示の夜勤提案に至る経緯を労働使交渉、産業医などの意見も説明し、ハローワークとしての対応を求めました。



## 夜勤の提示に条件を付記

5月10日に「夜勤とはひどすぎるとするむさしNet」を発行しました。

5月12日付の武蔵勤労発行の「適職」には、従来の夜勤の提示から「テラス状況により交替勤務が望ましいが、交替夜勤が困難

であれば(健康等の理由により)平常勤務も可とする」特記事項が追加されています。

谷口さんは、引き続き現職での継続雇用を求めます。

川崎二郎 厚生労働大臣 殿  
要 請 書

2006年 5月 12日

東京都港区三田 3- 2- 20  
電機労働者懇談会 代表 宮崎俊一

労働者の生活と権利を守る為に、御奮闘されている貴省に敬意を表します。  
改正高齢者雇用安定法の実施に伴い、電機メーカー各社の職場では、希望者の雇用継続が認められない様々な問題が起こっており、貴省のご指導をお願い致したく、以下要請を致します。

### 記

大手電機メーカーの職場において、以下のような事例が起こっています。

1, 60歳以降の雇用延長希望者に対して、55歳時点から賃金ダウンを行うケース。

NECでは、56歳から年収が20%ダウンします。また東芝では、希望者は東芝を退職し、高齢者雇用会社の社員になることとされ、賃金も大きくダウンします。

2, 60歳以降の雇用延長を希望する者に対して会社が選別し、希望しても受け入れないケース。

沖電気では、資格がグレード3以上(5段階評価

の上位のみ)と定め、それ以下は対象から排除しています。東芝などでも標準評価に達しない者を排除しています。

また、東芝では過去に結核で休職したが、その後、残業を含めて通常に勤務してきた労働者に対して、健康上の理由で延長を受け入れない、等の事態が起きています。

3, 雇用延長希望者に対して、これまでの勤務内容と全く違う事実上勤務が不可能な労働条件の業務を提示し、実質的に雇用延長の道を閉ざすケース。

ルネサス・武蔵事業所(旧日立製作所武蔵工場)では夜勤の経験のない事務労働者に対して、夜勤勤務を提示しています。

以上のような事例に対して改正高年齢者雇用安定法の趣旨である「希望者全員の雇用の継続・延長」が遵守されるよう厚生労働省として、指導されるようお願いいたします。

特に、改正法の周知徹底及び、雇用延長を希望する労働者を恣意的に排除する企業に対する強力なご指導を頂きますようお願い致します。

以上

## 国内半導体大手各社の06年 3月期決算と07年 3月期見通し

社名	決算月	売上高	率	営業利益	率
東芝	06/3	10,370	10.4	1,340	62.0
	07/3	12,500	20.5	1,650	23.1
ルネサス	06/3	9,060	9.6	131	74.3
	07/3	9,700	7.1	160	22.1
NECエレ	06/3	6,459	8.8	356	( - )
	07/3	7,050	9.1	50	( - )
松下電器	06/3	4,580	3.8	黒字	
	07/3	4,920	7.4	非公表	
ソニー	06/3	4,900	7.7	532	( - )
	07/3	7,900	61.2	非公表	
富士通	06/3	4,601	1.7	* 20	95.0
	07/3	5,100	8.5	20	0.0
エルピーダ	06/3	2,415	2.6	1	99.0
	07/3	非公表		非公表	
シャープ	06/3	1,357	2.6	78	36.1
	07/3	1,390	2.4	80	1.5
沖電気	06/3	1,507	0.0	30	75.2
	07/3	1,540	2.2	55	84.7
エプソン	06/3	1,026	26.4	* 10	( - )
	07/3	1,060	3.3	非公表	

(注) 単位億円。率は前年度比増益減率。 は日刊工業の推計は赤字またはマイナス。ルネサスは税引前利益。ソニーの営業損益に半導体レーザーは含まず。

06年5月2日付「日刊工業新聞」より

# 国内半導体大手の決算が公表へ

東芝は、携帯音楽プレーヤーなどで需要増が続くNAND型フラッシュメモリーの好調な伸びに支えられ、営業利益1340億円の大半を担った。

ルネサスは、05年度上期にマイコン出荷が低迷、さらに液晶表示装置ドライバードが響いて減収となり、営業利益も大幅減益となった。

半導体需要は05年度上期を底に回復基調にあり、07年3月期見通しを公表している9社は全社が増収を予想している。(5月2日付「日刊工業」より)

## 休憩室

「兵謀罪」

相談するのも考えものだな

「愛国心」

押し付けられるのはいやだな!

「女性社長」

ちよつとした改革から

成し遂げたんだってすごいね

ブックオフコポレーション

### 設備投資額

主要国内半導体メーカーの設備投資額が、4月28日付「電波新聞」で報道されましたのでお知らせします。(単位は億円)

会社名	05年度実績	06年度予測
東芝	2890	前年比増
ルネサス	800	800
NECエレ	830	1000
松下電器	800	
富士通	950	前年比増
ソニー	1600	
ローム	870	
エルピーダ	1890	1000
沖電気	168	200

# 職場だより

## グラウンドの開放

グラウンドが完成し、さつそく先日は高校生らしき子どもたちが使っていた。サッカーや野球等のチームが各学校や地域にたくさんあり市のグラウンドが増えたとはいえ、場所取りがたいへんである。企業のグラウンドも使つてな

## 旧土浦工場では全員が現職場で再雇用

日立プラントテクノロジー（旧土浦）では、先月（4月）に3名の定年退職者がありました。設計者が1名（日立懇会員）、組立員が2名の全員が現職場での再雇用となりました。

土浦はポンプや圧縮機などの産業機械の製作工場で、熟練労働者を必要とすることが特徴といえますが、これまでほとんどの定年退職者が現職場での再雇用となっています。（子会社での雇用で業務は現職場を含む）  
（投稿 TO）

い時には市民に開放することはおおいに喜ばしいことである。  
（H）

## 国民負担3兆円

在日米軍基地再編強化のために、日本の経費負担が3兆円と云われていきます。普天間基地に代えキャンブ・シユワフ沿岸部に建設を狙う新基地は当初計画の1・4倍・東京ドーム38個分の広さです。その8割が埋め立てになりそこには、国の天

然記念物ジユゴン  
のエサ場となつて  
いる藻場も含まれて  
います。  
基地の街では自治体  
や住民から強い反対の  
声があがっています。  
3兆円といえ  
ば、今年度  
予算に盛り込まれた  
向う3年間の  
国民負担増・給付減  
と同じ額。財政が  
厳しいとい  
いな

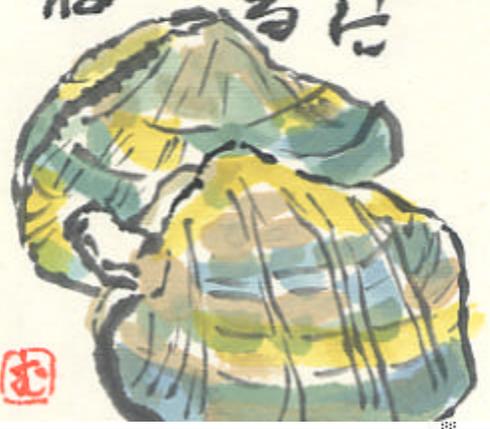
がらな  
んで米軍のために日本が支出しなければなら  
ないの？  
（M）

## 5月連休のいきわい

5月8日、国内航空各社とJR6社は、ゴールデンウィーク（4月28日～5月7日）期間中の輸送実績をまとめた。多くの人が3～7日に5連休となるなど曜日配列に

絵手紙でご挨拶

みな汁に  
入れられる  
のぞ知ら  
ずにな



恵まれたため、航空、鉄道ともに利用者数は前年より増加した。各社は「景気回復の影響もあるのではないかと見てい

る。空の便は、国内線が約278万人で前年比6・9%増、国際線が24万人で同2・8%増となり、JR6社は、主要49区間の特急・急行の乗車数が1034万人で前年比9%増になった、としている。

（T）

## 編集後記

本号は再雇用問題で臨時に発行され、各地の日立の職場から早朝宣伝に駆けつけられた。初めてご覧になる方も多いと思うが、日立懇HPにも掲載をしているので、引き続きご支援をお願いしたい。  
（T）